



天才アートとは、障害のある人の多くがもつ優れた感性と表現力、そこから湧き出る独創的なアート作品に対してネーミングしたものです。欧米では、アール・ブリュットとか、アウトサイダー・アートと呼ばれています。特定非営利活動法人 障害者芸術推進研究機構は、天才アートを推進し、その啓発活動を行っています。



発行日 2015年12月25日 (金)
 発行 特定非営利活動法人
 障害者芸術推進研究機構
 《天才アートミュージアム》
 〒605-0811 京都市東山区大和大路
 四条下る4丁目小松町 元新道小学校
<http://tensai-art.com>
info@tensai-art.com

※季報「天才アート」は、9号より会報「天才アート」と名称とスタイルを変え、シーズンごとではなく、年間を通して随時発行します。



『しんかい』(部分) 山元 真菜子 Manako YAMAMOTO 画用紙・カラー筆ペン 380×540mm 2015年



高島 晃平 Kohei TAKABATAKE



土屋 彰男 Akio TSUCHIYA



富田 晃生 Akio TOMITA

新年の1月に、初の企画展を開催することになりました。2012年より毎年『天才アートミュージアム展』を開催し、京都の「アール・ブリュット」として、その感性豊かな世界を市民や観光客に広く発信してきましたが、「もっと一人ひとりの作家に焦点をあてて作品を紹介してほしい」「ぜひ制作の様子なども見たい」「展覧会を増やして」などの声が寄せられていました。

そこで、個々の作家の作品を集めて系統的に展示したり、多面的に展示したりするなど、その個性と感性あふれる創造の世界をより分かりやすく紹介する展覧会を企画いたしました。第1回展は、当機構所属の作家から8名を選び、『8人の天才たち展』として開催します。

なお、今後は、全所属作家の作品と協賛団体の作品を網羅した『天才アートミュージアム展』と、今企画展のような作家・作品に焦点をあてた展示との、年2回の開催を行ってまいります。ちなみに『天才アートミュージアム展2016』は来年の11月に予定しています。

二つをあわせてご鑑賞いただくことで、京都のアール・ブリュットの世界をより広く、そして深く楽しんでいただけることでしょうか。多数の方のご来場をお待ちしています。

名称；『8人の天才たち展』

主催；特定非営利活動法人 障害者芸術推進研究機構

共催；京都市・京都市教育委員会

後援；京都新聞社社会福祉事業団

京都市立総合支援学校長会

助成；京都府地域アート展開催事業

京都新聞社会福祉事業団

日時；2016年1月21日(木)～31日(日)

11時～18時/月曜日休館(31日は17時まで)

会場；堀川御池ギャラリー

(京都市立芸大ギャラリー@KCUAと併設建物)

京都市中京区油小路通御池上る押油小路町238-1

TEL 075-255-9023

〈交通〉地下鉄東西線二条城前駅2番出口より徒歩1分

市バス堀川御池バス停徒歩1分



山元 真菜子 Manako YAMAMOTO

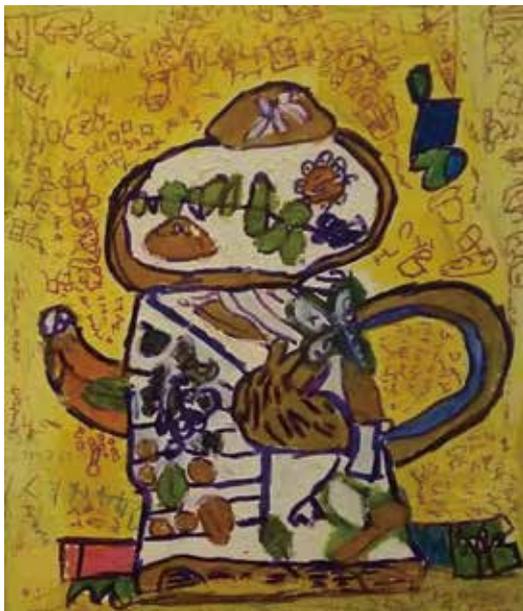
企画展 『8人の天才たち展』 開催



小山 怜志 Reiji KOYAMA



小寺 菜月 Natsuki KOTERA



楠川 敦士 Atsushi KUSUKAWA



庄野 隆太 Ryuta SHONO

■ 法人設立5期記念祝賀会

10月3日(土) 正午より、東山区蹴上のウエスティン都ホテル京都・鳳凰の間にて、「障害者芸術推進研究機構設立5期記念祝賀会」を開催しました。門川大作京都市長、藤田裕之副市長、高木博司保健福祉局長、在田正秀京都市教育長をはじめ、支援・連携をいただいている関係機関・団体より27名もの御来賓にご出席いただき、多くの御祝



来賓挨拶を頂戴した在田教育長



来賓挨拶を頂戴した門川京都市長



多数の御来賓・参加者を前に御礼の言葉を述べる高島理事長

と励ましの言葉をちょうだいしました。その後、5年の歩みをスライドで振り返りながら、作家とその家族・当機構スタッフも交えて会食と懇談・交流をいたしました。当機構は、障碍のある人がその才能を活かし学校卒業後も表現制作活動を続けられることを目指して、2010年12月に関係者が集まり、設立に向けて準備会を重ねて、翌2011年5月に設立総会を行い、同年7月に京都府より設立認可を受けました。



乾杯の御発声は藤田副市長

同8月15日に法人登記を済ませ、直ちに活動を開始しました。そして登録作家の募集を行い、同年10月より15名の作家たちとともに制作会を開始しました。その後、制作会をはじめ展覧会など各種事業を立上げ、京都市ならびに京都市教育委員会をはじめ多くの関係団体、賛同者の方々のご理解・ご支援と連携のもと、順調に活動を進めて来りました。当機構の活動の基は、何と言っても登録作家たちが生み出す作品の力にあります。現在所属作家は34名になっており、本年秋季より平日の制作活動も開始するなど、次の10年目に向けて、既存の活動を充実させながら、新たな事業の立ち上げを企図しています。法人設立5期記念祝賀会で、多くの関係者よりいただいた御祝と励ましの言葉を糧に、今後も作家・家族の皆さんとともに着実に歩みを進めて参ります。

■ 京都新聞チャリティー美術作品展に出展

10月29日より11月2日まで、京都高島屋7階ランドホールで第33回京都新聞チャリティー美術作品展が開催されました。

同美術展は、京都新聞社と公益財団法人京都新聞社会福祉事業団が、全国の芸術家や俳優など著名人1400人より寄贈された絵画・彫刻・陶芸・書などの作品を一堂に展示して、会場での入札による収益金を福祉事業の充実にあてています。

同福祉事業団の設立50周年記念の昨年度から、「オールブリュット作品紹介コーナー」が設けられて、当機構より作品を展示しています。本年度は、会場の正面入口に設けられた特設の展示コーナーで、当機構より絵画作品12点・立体作品40点を展出し、訪れた多数の来場者に感銘を与えました。



京都新聞チャリティー美術作品展の特設展示コーナー

■京都市自治記念表彰受賞

10月15日、京都コンサートホールで京都市自治記念式典があり、当機構は、「未来の京都まちづくり推進表彰」の分野での功績が認められ表彰されました。

これは、明治31年の10月15日に京都が近代の市政自治権を獲得したことを記念して昭和33年に「自治記念日」として制定され、「特別功労賞」など10分野で市政推進に功績があつたと認められた個人・団体を表彰しています。

今回は、当機構の障碍のある人の芸術活動を推進・支援する活動を通じた取り組みが評価されました。



京都コンサートホールで開催された京都市自治記念式典

■京都新聞大賞受賞

このたび、平成27年度京都新聞大賞「教育社会賞」を受賞しました。京都新聞大賞は京都・滋賀地域において、文化学術、教育社会、スポーツ、福祉、の4分野で特に功績のあつた団体・個人に贈られます。本年度は6団体・7個人が受賞しました。

11月26日、京都新聞社7階文化ホールにおいて授賞式がありました。式典では、京都新聞黒田清喜社長より賞状と副賞の授与の後、各分門の選考委員代表より祝辞と業績紹介があり、教育社会賞分野は荒巻楨一京都文化財団理事長より頂戴しました。

法人設立5期の記念すべき年に栄えある大賞を受賞し、当機構関係者一同、これまで協力や支援をいただいた多くの関係者の皆

様に感謝を申し上げますとともに、これほど大きな励みとして、次の新たなステップを踏み出すべく気持ちを強くしました。

京都新聞大賞「晴れの受賞者」

- 平成27年度京都新聞大賞「文化学術、スポーツ、福祉社会賞」は、以下の氏・団体に授賞された。このおめでとうございます。授賞式は11月26日（日）午後1時、京都新聞社7階文化ホールで行われます。（授賞式は授賞者の姓順）
- ▽文化学術賞
 - ▽受賞者としてご賞状の授与を受けたのは、元新道小に開設されたアトリエで、創作活動に励む障害者を見守る高島理事長（京都市東山区）
 - ▽受賞者としてご賞状の授与を受けたのは、元新道小に開設されたアトリエで、創作活動に励む障害者を見守る高島理事長（京都市東山区）
 - ▽スポーツ賞
 - ▽受賞者としてご賞状の授与を受けたのは、元新道小に開設されたアトリエで、創作活動に励む障害者を見守る高島理事長（京都市東山区）
 - ▽福祉社会賞
 - ▽受賞者としてご賞状の授与を受けたのは、元新道小に開設されたアトリエで、創作活動に励む障害者を見守る高島理事長（京都市東山区）

障害者芸術推進研究機構 伸び伸び創作 寄り添う

創作活動に関心を持つ障害のある人たちのため、元新道小（京都市東山区）にアトリエを開設し、美術の専門家でもあるメンバーが、伸び伸びとした表現者たちが寄り添う。

障害者の多くが学校を卒業後、創作から離れる現状を変えようと、2011年に発足。アトリエでの活動は休日の月2回からスタートし、今からは月1回の作品展に加え、「工事現場を作品で彩る「青春美術館」も各地で展開。高島理事長（74）は「障害者が創作に打ち込める場所がコンビニの様に増え、ネットワークでつながり合え、そんな社会の起点を京都でつくりたい」と話す。（京都市東山区）

京都新聞大賞の受賞者紹介記事（京都新聞 11月26日朝刊）

■平日制作活動開始!

11月より、就労B型の福祉施設と提携して平日の制作活動を始めました。これは福祉施設の利用者の現場実習先として、「アート制作」など創作・表現活動の場を提供するものです。

これまでの月2回の「休日制作活動」が余暇活動的であつたのに対し、「平日の制作活動」は「しごと」として行う形になります。現在、4人の人が登録し、朝10時より午後3時まで制作活動に励んでおり、新たな作品が生まれ始めています。

今後、総合支援学校の卒業生などの実習も受け入れていく予定です。



平日制作活動のスタートで新たな作品が生まれ出されます

ほほえみ広場2015 出展他

昨年引き続き、啓発活動の一環として10月17日に梅小路公園で開催された「ほほえみ広場2015」に出店しました。

出店ブースでは、当機構の活動紹介パネルの展示や、クリアファイルやポストカード・帆布バッグなどミュージアムグッズの販売を行いました。また、「季報」や設立五期記念制作の「アートペーパー」も配布しました。

天候にも恵まれて多くの方が来場され、天才アートをご存知の方にお越しいただいたり、通りがかりのご家族にクリアファイルを手にとりご覧いただいたりと、天才アートミュージアムの活動を知っていただく良い機会となりました。

また、11月3日の京都市役所前フリーマーケット啓発コーナーにも出展し、活動紹介とミュージアムグッズ販売をしました。

今後も引き続き、天才アートミュージアムの活動を市民の皆さまに知っていただくため、啓発活動の場に参加してまいります。



梅小路公園で開催された「ほほえみ広場2015」

「天才アートがやって来た！ 展」 in 南浜会館

11月26日、京都市伏見区の南浜学区社会福祉協議会主催「高齢者・障がい者の居場所づくり」の会場の南浜会館で、「天才アートがやって来た！展」を協賛開催しました。

この居場所づくりの事業は、南浜小学校地域の高齢者や障害者福祉施設の利用者の方々が、一緒にお茶やゲームなどを楽しみながら交流をするもので、その会場に「天才アートの作品を展示したい」との依頼を受けての開催となりました。

「この中から次の山下清が出てくるかもしれないですね」とご紹介していただき、参加者も熱心に作品を見ていました。色遣いの鮮やかな作品を見て「これ好きや〜」と声をかけてくださる方があり、用意した季報にも多くの方が目を通されて、天才アートの作品に興味を持って貰えたのではないかと思います。

普段なかなか展覧会などに行かれる機会の少ない方々に、気軽に天才アートの作品を見ていただくことができました。このような機会を与えていただき感謝申し上げます。



天才アートがやって来た！展」 in 南浜会館

ネットショップのご案内

—天才アートミュージアム公式ショップ—

<http://store.shopping.yahoo.co.jp/tenasai-art/>

または、「天才アート ヤフー」で検索

天才アートミュージアム公式ショップでは、天才アートミュージアム所属作家の作品をデザイン活用したオリジナルグッズを製作・販売しています。

当機構は、販売収益を還元することで、



クリアファイル



クリアファイル

障碍のある人の自立と社会参加に寄与することを目指しています。

これまでの展覧会で展示させていただいたデザイン製品を、インターネットを通じて全国各地にお届けいたします。

現在はクリアファイルやポストカード、和手ぬぐい、帆布製バッグを販売中です。他には無いオリジナルで個性的なデザインばかりです。

ぜひ「天才アートミュージアム公式ショップ」をご覧ください。



ポストカード



和手ぬぐい

ギャラリー
最新の作品介绍



三津田 一輝「三津田一輝の風神・雷神」2015



園村 克之「クリスマスガール RINA」2015



足立 茉莉 2015



ヨーロッパ事情(続編)
ウィーンのグッギング芸術村
を訪ねて
高島寛

この施設は1981年、患者たちが病院から分離された生活と制作ができる場を提供するために精神科医のレオ・ナヴラティルが設立した「芸術と精神療法センター」でした。後継者となった精神科医で彫刻家でもあるヨハン・フア



食堂で準備する芸術家(左)と筆者

イラッヒャーの方針変更で、芸術に特化した「いまの芸術家の家」になりました。現在は病院の管理から独立した社会福祉事業を目的とし、芸術家たちのための支援収容施設として運営されています。
「芸術家の家」のすぐ近くにグッギング・ミュージアムがあります。ギャラリーや共同制作室が併設されている白い瀟洒な二階建てのこの美術館は、1996年に建設された小児科の精神病院でした。



ミュージアムの作品展示室

館内はいくつもの展示室が用意されていて、故人を含む23人の芸術家たちの作品がいくつもの部屋と廊下別に整理されて見事です。いず

れも室内はうす暗く、スポットライトに浮かびあがった作品が語りかけてくるようです。しばらく歩いて廻ると、そこはまるで中世の礼拝堂の中にあるような気分になって不思議です。

このミュージアムではグッギングの芸術家の作品とならんで、各国のアール・ブリュットの作品展や企画展が催されます。たとえばアメリカの芸術家ジュディス・スラットの作品と石器時代をおもわせるニューギニアの高地民の芸術の関係性をテーマにした展覧会が開催されました。

グッギング・ギャラリーは、以前は「芸術家の家」の中で1994年に株式会社として設立されました。作品売の標準的な基準を法的に設けて、作品を販売することが可能になりました。売上げはもちろん芸術家本人に還元されますが、一部は施設の収入になり、国の助成金や寄付金とならんで貴重な運営収入源になっているようです。



ミュージアム内の共同制作室

グッギング・ミュージアムの企画展は世界各都市で開催され、ここで刊行される書籍や情報誌は世界に発信されます。また視察者の数も年々増えて、グッギング芸術村はいまやアール・ブリュットの聖地になったといえます。

■ ボランティアさん募集

障碍のある人のアート活動を推進するために、作品を創る環境を整え、作品をアライブ（記録・保存）し、作家別にポートフォリオ（作品集）を編集・制作すること、作品を商品デザイン化するアイデアを出し、実現させていくこと、活動をPRしていくことなど、サポートしていただけることはたくさんあります。アートを勉強中の若い皆さん、さまざまな分野で活躍されている社会人の皆さん、社会貢献に興味のある方、特技やノウハウを活かして、私たちの活動にぜひ参加してください。

● 以下のような活動に関わっていただける方を募集しています。

- ① 会報・広報活動の企画・編集
 - ② 作品のデザイン化・商品化などの企画
 - ③ その他、得意分野を活かした活動など
- 活動場所：四条新道アトリエ
京都市東山区大和路四条下る小松町130
- お問い合わせはホームページから
<http://tensai-art.com>

■ 最新情報 Facebook

アトリエ会の情報やイベント参加情報は、随時Facebookページでお知らせしていきます。ぜひご覧ください。
→ <https://www.facebook.com/tensai.art/>

■ 会報 広告主 募集中！

『会報 天才アート』は、天才アートミュージアムの活動報告をはじめ、所属作家の作品紹介、オール・ブリュットに関するコラムなどを掲載しています。発行部数は3500部で、会員・協賛団体、関係機関、各地の美術館、京都市内の主なギャラリー、カフェ、芸術系大学、総合大学などに配布・配架をしています。

天才アートミュージアムの活動にご賛同いただける企業様のご協力を、ぜひともよろしくお願ひします。

お問い合わせをお待ちしています。
1 枠：1万円（4回掲載）

● お問い合わせ・お申し込みは、
info@tensai-art.com まで

画材・額縁
画箋堂
京都・河原町五条

一級建築士事務所
町家・古民家再生 / マンション改修
**(株)共立ホーム
エンジニアリング**
06 (6788) 5402 kap@hyper.ocn.ne.jp

京都上鳥羽の印刷会社
MORITA (有) 森田美術印刷
〒601-8144 京都市南区上鳥羽火打形町12番地
TEL 075-692-3131

Yo Shi muna
Yoshimura Construction Co., Ltd.
吉村建設工業 (株)
京都市中京区西ノ京小倉町135番地
075-802-1360

Kuretake

明治安田生命
京都支社
京都市中京区烏丸通御池上ル二条殿町552
075-241-4811

水月
suien
季の味わい、心を包む
京都・東山八坂烏居居前下河原
075-551-0035

各種印刷 / アニメーション仕上げ
福祉工房 P&P

〈編集後記〉

2015年も残りわずか。皆さまはどのような1年をお過ごしになりましたでしょうか。特定非営利活動法人 障碍者芸術推進研究機構は、本年10月には京都市自治記念表彰を、11月には京都新聞大賞を受賞し、また平日制作活動を開始するなど、活動が徐々に成果に結びつき、新しい事業がスタートした1年でした。

2016年4月には法人設立5周年を迎えます。これも京都市ならびに京都市教育委員会をはじめ、多くの関係団体・企業・賛同者のご支援・協力のおかげと、改めて感謝申し上げます。これを機に更なるステップアップをするため、初めての企画展『8人の天才たち展』を2016年1月に、11月には『天才アートミュージアム展2016』第5回記念展を開催します。新しく参加した作家をはじめ、所属作家の日頃の成果をご高覧いただきますようお願い申し上げます。

また、季報『天才アート』は、9号より名称を会報『天才アート』に変更し、装いも新たにリニューアル致しました。今後は、タイムリーに情報を発信するツールとして、時期にとらわれずに発行していく予定です。これからもよろしくお願ひ致します。



『しんかい』山元 真菜子 Manako YAMAMOTO
画用紙・カラー筆ペン 380x540mm 2015年

【表紙の作品について】
多色のカラー毛筆ペンを使って、ち密に描き込んでいます。彼女は、常に複数の作品を並行して制作しているため、完成に半年、約30時間ほどかかっています。自らの作家名として「ゲシュタルト崩壊フラグ」を名乗っています。